

EZL-200A ファームウェアの更新方法

初版 2005年3月28日

1. 概要

EZL-200A のファームウェアの更新には、EZL ユーティリティの hotflash.exe を使用します。

現在動作しているファームウェアのバージョンにより更新するときには筐体のカバーを外す必要がある場合とない場合の2つの状況が発生します。

本アプリケーションノートでは、これら状況の見分け方とファームウェアの更新方法を説明します。

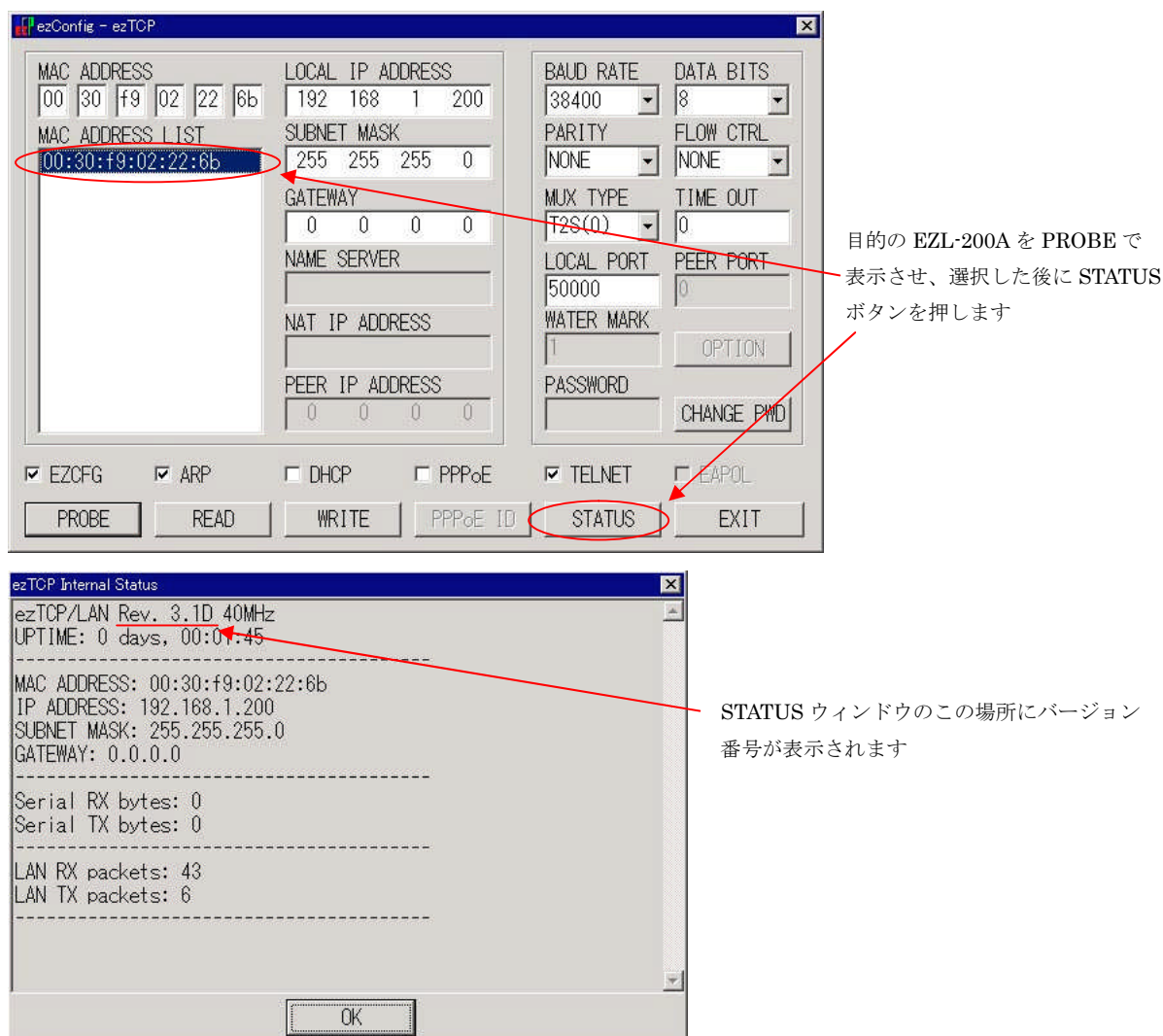
2. ファームウェアの更新方法

2. 1 筐体のカバーを外す必要性の見分け方

現在動作しているファームウェアがバージョン 3.1d 以降のものは筐体のカバーを外すことなくファームウェアの更新を行うことが可能です。(筐体のカバーを外して更新を行うことも可能です)

3.1d より前のバージョンでは、筐体のカバーを外して更新を行う必要があります。

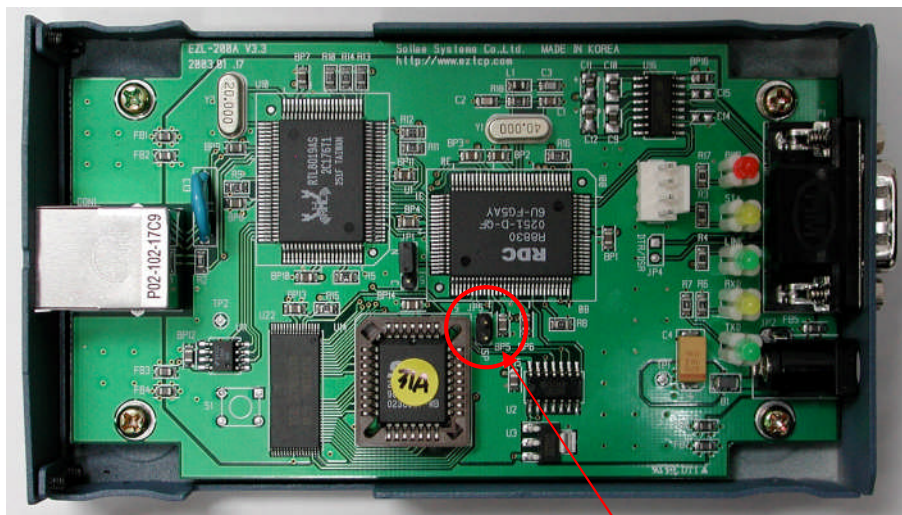
これら動作ファームウェアのバージョン情報は ezConfig にて確認することができます。



2. 2 筐体カバーを外す更新方法（動作ファームウェアがバージョン 3.1d より前の場合）

①EZL-200AをISPモード（プログラミングモード）に設定する

EZL-200Aの筐体の上カバーを外し、基板上のジャンパSW（JP5）を短絡します。
 これにより、次回電源投入時にEZL-200AはISPモード（プログラミングモード）で起動します。

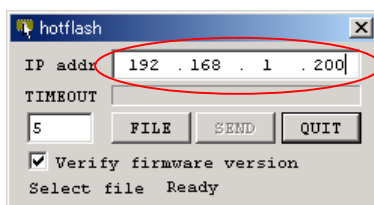


JP5

②EZL-200Aを起動する

EZL-200Aに電源投入して起動させます。
 ISPモードで起動するとSTS LEDが高速（1秒に約10回）に点滅します。

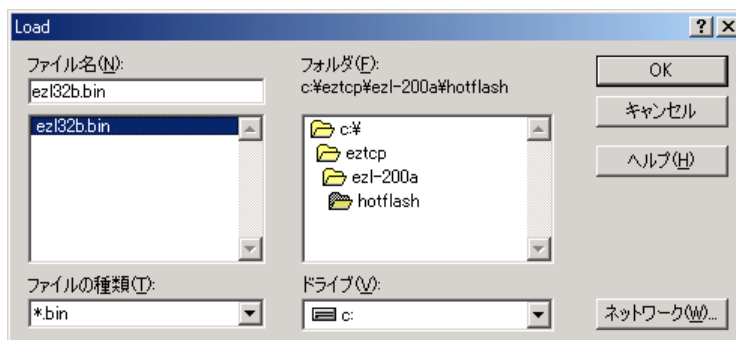
③Hotflash.exeの起動とIPアドレスの設定



Hotflash.exeを実行し起動させ、ファームウェアの更新を行うEZL-200AのIPアドレスを入力します。
 EZL-200AのIPアドレスがわからない場合にはezConfigのPROBEボタンにて調べることができます。

④更新するファームウェアファイルの読込

FILEボタンを押して、ファームウェアファイルを選択し、OKボタンを押して読み込みます。



（上図では c:\eztcp\ezl-200a\hotflash フォルダにある ezl32b.bin ファイルを選択している状態です。）

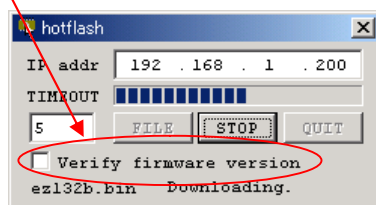
⑤ファームウェアの更新（書き込み）

SEND ボタンを押してファームウェアの更新（書き込み）を行います。

この際、Verify firmware version のチェックは外してください。

進捗バーが増えていき、更新が完了すると OK のダイアログが表示されます。

進捗バーが動かない場合には IP アドレスやサブネットマスクの設定が正しいか確認してください。



⑥EZL-200Aを通常モードに設定する

EZL-200Aの電源を切断し、短絡したJP5を開放します。

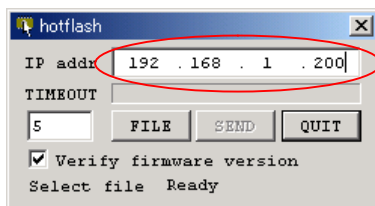
外した筐体カバーを元に戻してください。

以上でファームウェアの更新は完了です。

ファームウェアバージョン 3.1d 以降でも本方法でファームウェアの更新ができますが、次項の方法をお勧めします。

2. 3 筐体カバーを外さない更新方法（動作ファームウェアがバージョン 3.1d 以降の場合）

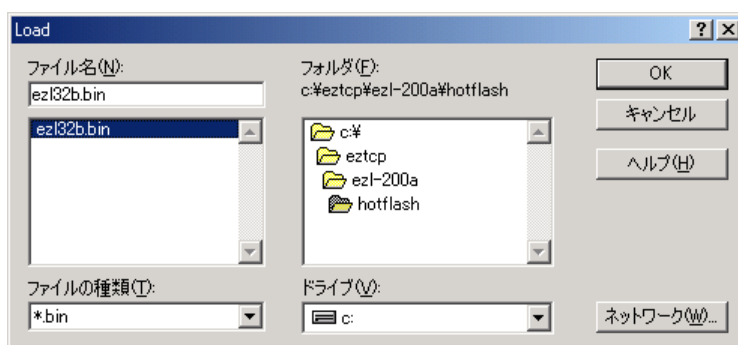
① Hotflash.exe の起動と IP アドレスの設定



Hotflash.exe を実行し起動させ、ファームウェアの更新を行う EZL-200A の IP アドレスを入力します。EZL-200A の IP アドレスがわからない場合には ezConfig の PROBE ボタンにて調べることができます。

② 更新するファームウェアファイルの読込

FILE ボタンを押して、ファームウェアファイルを選択し、OK ボタンを押して読み込みます。

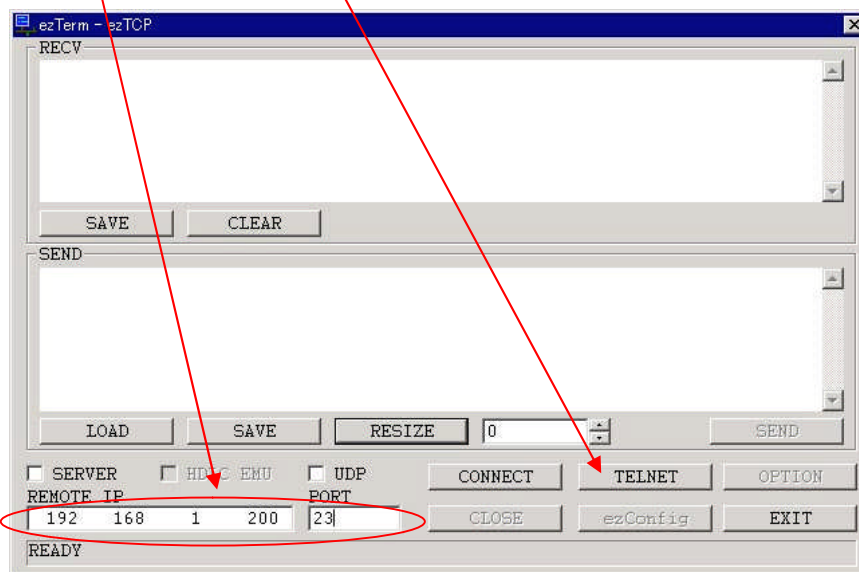


（上図では c:\eztcp\ezl-200a\hotflash フォルダにある ezl32b.bin ファイルを選択している状態です。）

③ EZL-200A を ISP モード（プログラミングモード）に設定する

EZL-200A に電源投入して起動させます。

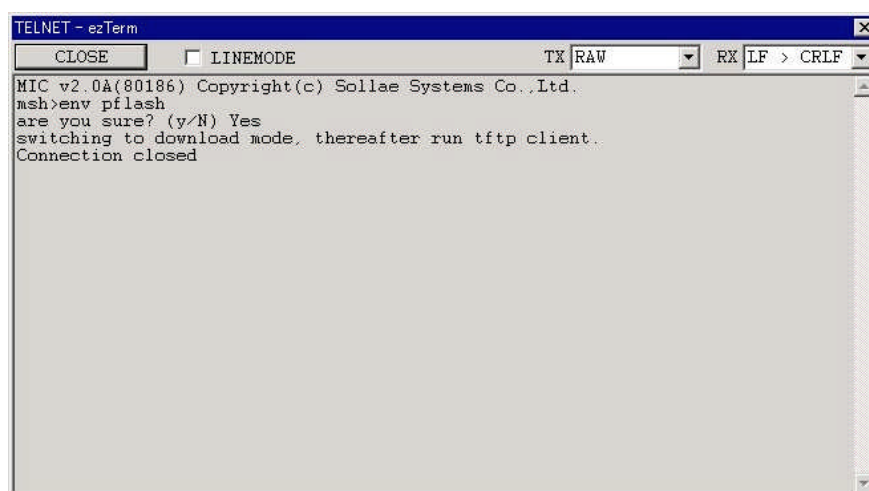
ezterm.exe を実行し起動させ、ファームウェアの更新を行う EZL-200A の IP アドレスを REMOTE IP 欄に入れ、PORT 欄には 23 を入力します。TELNET ボタンを押して EZL-200A に telnet でログインします。



ログインが完了すると TELNET ウィンドウが開きます。



ログインできない場合には、IPアドレスやサブネットマスクの設定が正しいか確認してください。また、EZL-200Aの設定で telnet を禁止している場合にはログインすることができません。この場合には ezConfig で TELNET のチェックボックスをチェックして WRITE し、telnet を有効にしてください。



表示されたウィンドウ内で「env pflash」と入力します。
EZL-200Aから「are you sure? (y/N)」とメッセージが表示されますので「y」を入力します。
この操作でEZL-200AはISPモードに切り替わり、STS LEDが高速（1秒に約10回）に点滅します。
また、自動的に telnet 接続は切断され、ウィンドウ内がグレーに変化します。

(注) telnet でのログインは必ず ezterm.exe を使用してください。Windows 標準の telnet では「y」の入力ができず ISP モードに切り換えることができない場合があります。

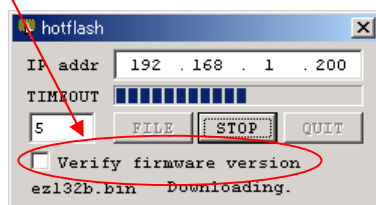
④ファームウェアの更新（書き込み）

SEND ボタンを押してファームウェアの更新（書き込み）を行います。

この際、Verify firmware version のチェックは外してください。

進捗バーが増えていき、更新が完了すると OK のダイアログが表示されます。

進捗バーが動かない場合には IP アドレスやサブネットマスクの設定が正しいか確認してください。



(注) I S Pモードに切り替わった後、E Z L-2 0 0 Aは約3 0秒で通常動作モードに戻ります。

SEND ボタンは3 0秒以内に押してください。

S T S L E Dが1秒に1回の点滅になっている場合は通常モードに戻っていますので、③の手順を繰り返してください。

⑤E Z L-2 0 0 Aの電源を切断する

E Z L-2 0 0 Aの電源を切断してください。

以上でファームウェアの更新は完了です。

ご注意

- ・本文書の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有します。
- ・本文書の内容を無断で転載することは一切禁止します。
- ・本文書に記載された回路図およびサンプルプログラム等の著作権は（株）アルファプロジェクトが保有しますが、お客様のアプリケーションで使用される場合には、ご自由にご利用いただけます。
- ・本文書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・本文書に記載されている内容およびサンプルプログラムについての質問等のサポートは一切受け付けておりませんのでご了承ください。
- ・本文書の内容については、万全を期して作成いたしました。万が一不審な点、誤りなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡下さい。
- ・本文書の内容およびサンプルプログラムに基づき、アプリケーションを運用した結果、万一損害が発生しても、弊社では一切責任を負いませんのでご了承下さい。

- ・Windows®の正式名称は Microsoft®Windows®Operating System です。

Microsoft、Windows、Windows NT は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Windows®XP、Windows®2000 Professional、Windows®Millennium Edition、Windows®98 は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。

本文書では下記のように省略して記載している場合がございます。ご了承ください。

Windows®XP は Windows XP もしくは WinXP

Windows®2000 Professional は Windows 2000 もしくは Win2000

Windows®Millennium Edition は Windows Me もしくは WinMe

Windows®98 は Windows 98 もしくは Win98

- ・その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。



株式会社アルファプロジェクト

〒431-3114

静岡県浜松市東区積志町 834

<http://www.apnet.co.jp>

E-MAIL : query@apnet.co.jp